

# ハシブトガラ

*Parus palustris*

シジュウカラ科・留鳥



ハシブトガラ

## 名前の由来

「カラ」はシジュウカラ科などのよくさえずる小鳥の総称。「ハシブト」は、コガラよりもくちばしが太いのでつuitaと思われる。漢字名：嘴太雀(?)

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ  
ウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(草原・樹林)  
鳥類  
ワシ・タカ

## 特定種

該当なし

## 形態的特徴

全長(くちばしの先から尾の先まで)12.5cm。シジュウカラより小さい。

頭がベレー帽をかぶったように黒く、光沢がある。のどもあごひげ状に黒いがネクタイ状ではない。背は灰色、胸と腹は白。

声:「チョーチョーチョー」または「ホーイチャーチャーチャー」と高い声でさえずる。地鳴き(さえずりではない普段の鳴き方)は「チチ、ジェージェー」。

類似種と見分け方:コガラ、ヒガラ、シジュウカラ。

コガラはくちばしが少し細く、頭に光沢がないが、外見での識別は非常に困難。ただし、さえずりが「ホーヒー、ホーヒー」というような柔らかな声や「ヒツツヒー、ヒツツヒー」という声であるので、鳴いていれば識別できる。また、コガラは山間部に多く平地には少ない。

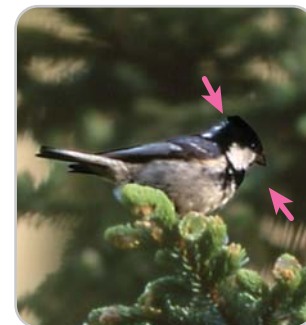
ヒガラは冠羽があり、のどは蝶ネクタイ状に黒い。シジュウカラはのどから胸、腹へネクタイ状の黒線がある。



ハシブトガラ(左)とコガラ(右)。どちらも胸、腹に「ネクタイ」がなく、黒い「ベレー帽」と「あごひげ」が特徴で、外見からはほとんど区別できない。



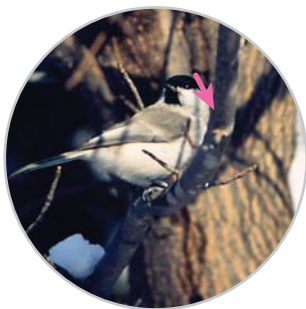
シジュウカラ。のどから胸、腹へ黒い「ネクタイ」がある



ヒガラ。ネクタイはないが、のどの黒は大きい。首後が白い



ハシブトガラの背中



シジュウカラの背中  
上の方が黄緑色

## 生息環境・分布

低地や低山帯の樹林帯。落葉広葉樹林や針広混交林でよく見られ、湿地や川辺の林など、藪が多いところを好む。

分布:ユーラシア大陸中緯度地方の西と東にそれぞれ分布。

日本では北海道だけにいる。

北海道・十勝地方では留鳥。平野から山地に生息する。森林の主要種である。

## 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
十勝出現期												
					繁殖							

## 食性・他生物との関わり

主として木の幹や枝にいる昆虫やクモ類を食べる。また植物の種子や小さな果実も食べる。

樹木の中・下層の枝を伝わりながら餌をとる。ミズナラの芽の鱗片をはいで虫を探したり、ガの仲間の幼虫を片足で押さえてくちばしで引きちぎったりする。秋に草の種子などを貯蔵する習性がある。

貯えた種子をシジュウカラに奪われることがある。

天敵は猛禽類など。

## 繁殖生態

繁殖期は4～6月、一夫一妻で繁殖する。

繁殖期にはなわばり性が強い。(→興味深い話の項参照)

樹木の幹や大枝に自然にあいた穴やキツツキの古巣穴といった樹洞の中に巣を作る。巣作りはメスのみが行い、コケ類を詰め物にして産座に羽毛や獣の毛を利用するという。

7～8個産卵し、メスのみが卵を抱く。

約13日でヒナがかえり、オスメス共同で育て、16～17日くらいでヒナは巣立つ。



樹洞の巣に餌を運んできたハシブトガラ

## 興味深い話

■標識調査で、5年11ヶ月の生存が確認されている。

■なわばり争いでは、オス同士が独特の発声をしながら枝取りを行ったり、平行して波状に飛んだり、実際の闘争などを行ったりするという。

■樹洞やキツツキの古巣穴の中に巣を作るが、巣箱を利用することもある。

■夏の終わりから秋にかけて、樹皮の割れ目などに草の種子などを大量に貯える習性がある。

■冬は餌台に来て脂身やヒマワリの種を好んで食べる。

■つがいのオスメスは一年中一緒にいる。

■秋から冬には群を作る。シジュウカラ、エナガ、キツツキのコゲラなどと混群を作ること多い。

■十勝では比較的普通に見られる鳥だが、日本では北海道にしかない。



ハシブトガラ

## 配慮事項

樹洞のできる木のある落葉広葉樹林などが大事。

### 参考文献

「山溪カラー名鑑 日本の野鳥」高野伸二 編、浜口哲一・森岡照明・叶内拓哉・蒲谷鶴彦 著、山と溪谷社 1985 (1995 2版21刷)

「原色日本野鳥生態図鑑(陸鳥編)」中村雅彦・中村登流、保育社 1995

「北海道鳥類目録改訂2版」藤巻裕蔵、帯広畜産大学野生動物管理理学研究室 2000

「野鳥ブックスー2 フィールドガイド日本の野鳥」高野伸二・谷口高司・森岡照明・叶内拓哉、(財)日本野鳥の会 1982 (1994増補版7刷)

「北海道の野鳥」藤巻裕蔵・小堀煌治、北海道新聞社 1997

「鳥類観測ステーション報告」(財)山階鳥類研究所、1996

「図説 日本鳥名由来事典」菅原浩・柿澤亮三 編著、柏書房 1993

「十勝と釧路の野鳥」日本野鳥の会 十勝支部・釧路支部 1987

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(葎原・樹林)  
鳥類  
ワシ・タカ